

## 癌化学療法輸液約束処方 急性リンパ芽球性白血病

癌種 再発または難治性のCD22陽性の急性リンパ芽球性白血病

レジメン名 ALL3 Inotuzumab単剤

薬品名(商品名)	一般名	標準投与量	投与経路	投与日	1クール期間
ベスポンサ	イノツズマブ オゾガマイシン	0.8mg/m <sup>2</sup> (Day1) 0.5mg/m <sup>2</sup> (Day8.15)	div	Day1.8.15	21～28日間

- ① NS 50 ml + ソル・コーテフ100mg + ポララミン 1A / 10分 カロナール併用
- ② NS 50 ml + ベスポンサ mg /1時間 ☆投与時遮光(輸液バック、ルート)
- ③ NS 50 ml / 10分

### 【備考】

- ①コース制限:6コース (HSCT(造血幹細胞移植)の施行を予定している場合:3コース)
- ②寛解が得られた場合、2コース目以降の1日目の投与量は0.5mg/m<sup>2</sup>とする
- ③インフュージョンリアクション対策:カロナールまたはNSAIDsなど
- ④本剤の治療前に、末梢芽球数を10,000/ $\mu$ L以下にすることが望ましい

### 【調製時】

- ①1Vあたり注射用水4mlにて溶解→0.25mg/ml
- ②調製時遮光

### 【投与時】

点滴ライン:PVCまたはポリブタジエン製を使用  
フィルター:ナイロン製または合成繊維素エステル(MEC)製は**使用不可**

R2.6.13作成